

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金実施状況及び効果検証

No.	補助・単独	交付対象事業の名称	所管課	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	事業 始期	事業 終期	A						効果・検証	予算区分
							総事業費 （実績額）	B 国庫補助額	C コロナ交付金充当額	D 起債額	E 一般財源	F 補助対象外経費		
合計							344,974,739	57,620,000	220,315,000	66,957,000	82,739	-		
1	単	地域振興券交付事業	産業課	①新型コロナウイルス感染症の影響により停滞している経済活動の活性化を図るため、全町民に地域振興券とグルメクーポン券を交付する。 ②③地域振興券印刷377,520円、折込手数料2,574円、地域振興券取扱交付金13,904,485円（地域振興券500円×21,895枚＝10,947,500円、グルメクーポン500円×5,761枚＝2,880,500円、振込手数料56,320円、取扱店ポスター作成20,180円、利息返納-15円）合計14,284,579円 ④町民	R2.4	R3.1	14,284,579		14,284,000		579		全1,137世帯に地域振興券（500円×20枚）、グルメクーポン（500円×6枚）を交付した。使用率は地域振興券で96.3%、グルメクーポン券で84.4%との使用率となり地域経済の活性化が図られた。	R2補正
2	単	町内飲食店等利用促進補助金	産業課	①新型コロナウイルス感染症の影響により停滞している経済活動の活性化を図るため、飲食店等利用促進事業を行うための補助金を町商工会に交付する。 ②③1,000,000円定額を交付する。 ④町商工会	R2.4	R3.3	1,000,000		1,000,000		-		町商工会の企画により、町内料飲店を利用したお客へ景品配付及び利用金額に応じて付与するポイントの3倍・5倍セールを実施し、利用促進を図ることができた。	R2補正
3	単	新型コロナウィルス対策関連支援金等支給事業	産業課	①新型コロナウィルスの影響を受けている事業者等の事業継続を支えるための支援金を支給する。また、緊急事態措置に基づく休業要請延長に伴い、5/15まで休業した事業者等に協力金を支給する。 ②③5,750,000円 支援金：令和2年2月～5月の期間、前年同月比、15%～50未満の減収が1か月以上ある事業所等に対し、前年総売上額に応じ総売上200万以上⇒20万、200万未満⇒15万、150万未満⇒10万、50万未満⇒5万円を支給。200千円×12件+150千円×1件+100千円×2件+50千円×0件＝2,750千円 休業協力金：定額200千円×15件＝3,000千円 ④町内事業者	R2.5	R2.6	5,750,000		5,750,000		-		新型コロナの影響で経営に打撃を受けている事業者を支援することができ、事業継続に繋げることができた。	R2補正
4	単	マスク配布事業（1回目）	住民課	①マスク確保が難しい状況であるので、感染予防のため、全町民へ配布する。（4/21発送） ②③2,744,595円 大人用マスク29,000枚×66円＝1,914,000円、子供用マスク10,000枚×66円＝660,000円、送料13,200円、郵便料157,394円 ④町民	R2.4	R2.5	2,744,595		2,744,000		595		不織布マスクの流通が滞っている時期に全町民（1人当たり10枚）に配布、公共施設や小中学校等にも必要な枚数を配布し、町民等の感染予防を図ることができた。	R2予備費
5	単	マスク確保及び配布（2回目）事業	住民課	①マスク確保が難しい状況であるので、感染予防のため、マスクを確保し、全町民へ配布（5/18発送）及び公共施設等で使用する。 ②③2,353,773円 大人用マスク30,000枚×66円＝1,980,000円、子供用マスク3,000枚×77円＝231,000円、郵便料142,774円 ④町民、町	R2.5	R2.6	2,353,773		2,353,000		773		1回目配布後もマスクの確保が難しい状況が続く中、全町民（1人当たり10枚）に配布、公共施設や小中学校等にも必要な枚数を配布し、町民等の感染予防を図ることができた。	R2補正

No.	補助・単独	交付対象事業の名称	所管課	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	事業始期	事業終期	A						効果・検証	予算区分
							総事業費 （実績額）	B 国庫補助額	C コロナ交付金充当額	D 起債額	E 一般財源	F 補助対象外経費		
6	単	公共施設等 安心安全確保事業	総務課 企画課 教育委員会	①感染予防のため、各施設に消毒液等の設置及び防護服等の必需物品を購入。また、特に多くの人が利用する施設にサーモグラフィーを設置する。 ②③5,281,870円 必要物品：消毒液、防護服、フェイスシールド、N95マスク等 合751,410円 サーモグラフィー3台929,500円、ディスプレイ1台33,000円、次亜塩素酸空間除菌装置：温泉10台1,982,200円、こども園8台1,585,760円 ④消毒液、防護服等：町、公共施設 サーモグラフィー：温泉、屋内遊戯場の指定管理者	R2.6	R3.1	5,281,870		5,281,000		870		公共施設に消毒液を設置、また、特に町外からの利用が多い秩父別温泉とキッズスクエアちっくくるにサーモグラフィーを設置することで重点的に感染予防を図ることができた。 また、フェイスシールドや防護服等の必需物品を購入し、必要に応じ使用することができた。	R2補正
7	単	役場庁舎仕切設置	総務課	①感染予防のため、役場庁舎各課カウンターに仕切を設置する。 ②③仕切設置工事572,000円 ④町	R2.4	R2.6	572,000		572,000		-		役場庁舎各課カウンターに仕切を設置し、感染予防と来庁者の安全安心を確保することができた。	R2予備費
8	単	防災必需物品整備事業	総務課	①災害等に備えるため、避難所等の必需物品（マスク、除菌資材、間仕切り）を整備する。 ②③3,637千円 大人用マスク50,000枚×48.84円＝2,442,000円、子供用マスク4,000枚×48.84円＝195,360円、除菌資材81,000円、間仕切（4部屋用）8組466,400円、テント18セット227,700円、マット54枚196,020円 ④町	R2.6	R3.3	3,608,480		3,608,000		480		避難所等に必要な物品（マスク、除菌資材、間仕切り、テント）を備蓄し、コロナ禍における災害等に備えることができた。	R2補正
9	単	ちっぷっ子ふれあいスクール臨時開設事業	教育委員会	①小学校の臨時休校により、児童を自宅で待機させておくことが難しい家庭が多いため、放課後児童教室の開設時間（午前中開設）を延長し対応する。 ②③148,447円 開設時間延長分人件費 4.5月分パートナ154時間分148,447円 ④生涯学習センター指定管理者	R2.4	R3.3	148,447		148,000		447		小学校の臨時休校により、児童を自宅で待機させておくことが難しい家庭へ対応するため、放課後児童教室の開設を午前中も行い、保護者の支援及び経済活動の維持を図ることができた。	R2補正
10	単	介護従事者・保育士等支援事業	住民課 教育委員会	①介護従事者や保育士等は、新型コロナウイルス感染症対策に係る消毒などの業務量が増加、また、感染に対し大きな不安を抱え仕事をしている。事業継続には従事者の確保が必須であるため、緊急事態宣言（4/20～5/31）の期間において、特別手当を支給し、勤労意欲を喚起し従事者確保と事業継続を図る。 ②③618,000円 認定こども園 従事日数延434日×1,000円＝434千円 子育て支援センター 従事日数延29日×1,000円＝29千円 指定訪問介護事業所 従事日数延70日分×1,000円＝70千円 放課後児童教室（ちっぷっ子） 従事日数延85日分×1,000円＝85千円 ④各施設の指定管理者	R2.4	R2.7	618,000		618,000		-		介護従事者や保育士等に対し特別手当を支給し、勤労意欲を喚起し従事者確保と事業継続を図ることができた。	R2補正
11	単	中学校給食支援事業	教育委員会	①給食の提供ができない分散登校日に給食を用意し、提供を行う。 ②③給食にかかる費用26,219円 118円（1品あたりの平均金額）×222品分＝26,219円 ④中学生	R2.5	R3.3	26,219		26,000		219		分散登校により給食が提供できない日にも給食を用意し、生徒・保護者への支援を図ることができた。	R2補正

No.	補助・単独	交付対象事業の名称	所管課	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	事業始期	事業終期	A						効果・検証	予算区分
							総事業費 （実績額）	B 国庫補助額	C コロナ交付金充当額	D 起債額	E 一般財源	F 補助対象外経費		
12	単	子育て応援給付金交付事業	住民課	①新型コロナウイルス感染症の影響を受けている子育て世帯の生活を支援するため、町独自に0歳～高校生まで1人当たり1万円を交付する。 ②③0歳～高校3年生 264人×10,000円＝2,640千円 ④町民(0歳～高校生を扶養している世帯)	R2.5	R2.5	2,640,000		2,640,000		-		新型コロナウイルス感染症の影響を受けている子育て世帯へ支援金を交付することで子育て世帯の経済的負担を軽減することができた。	R2補正
13	単	簡易水道事業会計繰出・補助	建設課	①新型コロナウイルス感染症が経済的に甚大な影響をもたらしている状況を踏まえ、町民生活及び経済活動を支援するため、公共施設を除く、全利用者を対象として、3か月分(7月～9月支払分)の水道基本料金を免除する。 ②③簡易水道事業会計に繰り出し、水道基本料金減免に係る費用を交付対象経費とする。免除額合計7,392,957円（4tまで基本料金1,078円、6tまで1,617円、10tまで2,684円） ④町民	R2.6	R2.12	7,392,957		7,392,000		957		公共施設を除く全利用者の水道基本料金3か月分を減免し、町民生活及び経済活動を支援することができた。	R2補正
14	単	防災備蓄品保管設備整備	総務課	①マスク、防護服、消毒剤、間仕切り等の感染予防対策備蓄品の保管場所が不足しているため、老人福祉センターの図書室及び旧ボイラー室に棚を整備して保管する。 ②③金属製ラック5台 495,000円(備品購入費) 木製棚、床養生 271,700円(工事請負費) 計766,700円 ④町	R2.7	R2.11	766,700		766,000		700		老人福祉センターの図書室及び旧ボイラー室に棚を整備することにより、感染予防対策備蓄品の適切な管理・保管を図ることができた。	R2補正
15	単	秩父別温泉魅力向上・集客強化事業	企画課	①秩父別温泉は、観光振興における拠点施設であり、雇用の場としての役割も担っている。町の経済復興を図るには、新型コロナ感染症の影響で低迷している温泉宿泊の集客を、脱コロナに向けて、V字回復させる必要があるため、テレワーク等に対応できる様、WIFI環境を強化するとともにお客が泊まりたいと思える魅力ある客室等空間を創出するための備付品を整備し、快適な宿泊サービスを提供する。なお、整備する備付品は抗菌仕様様の製品を基本とし、コロナ禍における安全安心を図る。 ②③WIFI環境強化及び客室等の備付品整備 ・WIFI環境強化 1,958,000円 ・客室抗菌家具 応接セット20組1,224,000円、座卓18台579,600円、化粧台椅子6脚78,600円、ベット12台1,036,800円、運搬設置費一式281,000円 消費税320,000円 計3,520,000円 ・抗菌レストラン椅子・テーブル 椅子64脚1,198,080円、抗菌テーブル19台562,400円、運搬設置費一式239,520円 消費税200,000円 計2,200,000円 ・客室テレビ22台890,560円 ・客室空気清浄機22台721,160円 ・客室金庫22台396,000円 ・各部屋新畳335枚3,685,000円 ・抗菌座布団460枚1,435,412円 ④温泉指定管理者	R2.7	R2.11	14,806,132		14,806,000		132		・WIFI環境強化により全館インターネットが利用可能となり、利用者の利便性向上、テレワーク等の受入体制整備を図ることができた。 ・宿泊室の備付品を整備し、利用者が泊まりたいと思える魅力ある客室空間を創出することができた。脱コロナ後の集客に期待ができる。	R2補正
16	単	秩父別温泉誘客促進助成事業	企画課	①新型コロナウイルス感染症で落ち込んだ町の旅行需要及び秩父別温泉収入の早期回復のため、秩父別温泉に宿泊する代金を1名1泊につき最大5千円割引する町独自事業を実施する。 ②③温泉宿泊者に対し、宿泊費の1/2 最大5千円助成1泊1人5千円×1,000人＝5,000千円 ④温泉指定管理者、宿泊利用者	R2.7	R3.3	5,000,000		5,000,000		-		上限である1,000人の利用があり、温泉のみならず地域の経済活性化を図ることができた。	R2補正

No.	補助・単独	交付対象事業の名称	所管課	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	事業始期	事業終期	A						効果・検証	予算区分
							総事業費 （実績額）	B 国庫補助額	C コロナ交付金充当額	D 起債額	E 一般財源	F 補助対象外経費		
17	単	公共施設等 抗菌抗ウイルス加工	企画課 住民課 教育委員会	①感染予防及び感染拡大防止のため、下記施設及び車両に抗菌抗ウイルス加工を施す。 ②③下記施設等に抗菌抗ウイルス素材を吹付け加工する。 ・認定こども園2,706千円 ・デイサービス3,058千円、デイ車両253千円 計3,311千円 ・屋内遊戯場5,093千円 ・スクールバス110千円、ハイエース67千円、諸経費53千円、消費税23千円 計253千円 ・温泉 バス大型2台440千円、バス中型1台150千円、ハイエース1台67千円 諸経費193千円 消費税85千円 計935千円 ④認定こども園、デイサービス、屋内遊戯場、温泉の指定管理者及び教育委員会	R2.8	R2.11	12,298,000					-	認定こども園、デイサービスセンター、屋内遊戯場キッズスクエアちっくる、スクールバス、秩父別温泉送迎用車両に抗菌抗ウイルス加工を施すことで感染予防と安心して利用できる環境整備を図ることができた。	R2補正
18	単	低濃度二酸化塩素発生装置設置	住民課 教育委員会	①感染予防及び感染拡大防止のため、下記施設に低濃度二酸化塩素発生装置を設置し、空間等のウイルス除去・除菌をし、感染リスクを軽減させる。 ②③デイサービス1台859,100円、屋内遊戯場1台859,100円 計1,718,200円 ④デイサービス、屋内遊戯場の指定管理者	R2.7	R2.8	1,718,000		1,718,000			-	デイサービスセンター、屋内遊戯場キッズスクエアちっくるに低濃度二酸化塩素発生装置を設置することで感染予防と安心して利用できる環境整備を図ることができた。	R2補正
19	単	デイサービスセンター冷風機設置	住民課	①マスク着用により、熱中症のリスクが高まるため、冷風機を設置する。 ②③冷風機2台×124,300円＝248,600円 ④デイサービス指定管理者	R2.7	R2.9	248,600		248,000		600		冷風機を設置することで利用者の熱中症のリスク軽減を図ることができた。	R2補正
20	単	公共施設冷房設備抗菌フィルター設置	企画課 住民課 教育委員会	①公共施設や温泉等に設置している冷房設備に抗菌フィルターを取付、コロナウイルス感染拡大防止を図る。 ②③抗菌フィルター購入費用 576,840円 図書館1,280円(62×62:2枚入り)×15パック×1.1＝21,120円、温泉1,280円(62×62:2枚入り)×10パック×6か月×1.1＝84,480円、1,200円(40×80:2枚入り)×52パック×6か月×1.1＝411,840円 子ども園1,200円(40×80:2枚入り)×33パック×1.1＝43,560円、老福1,200円(40×80:2枚入り)×12パック×1.1＝15,840円 ④公共施設、温泉、こども園指定管理者等	R2.7	R2.8	576,840		576,000			840	公共施設や温泉等に設置している冷房設備に抗菌フィルターを取付することでコロナウイルス感染拡大予防を図ることができた。	R2補正
21	単	新生児特別給付金	住民課	①新型コロナウイルス感染症が経済的に甚大な影響をもたらしている状況を踏まえ、町民生活及び経済活動を支援するため、4/28以降に生まれた子ども一人当たり10万円を支給する ②③新生児12人×100千円＝1,200千円 ④町民	R2.7	R3.1	1,200,000		1,200,000		-		新型コロナが経済的に甚大な影響をもたらしている中、新生児特別給付金により、経済的支援を行うことで安心して子育てできる環境整備を図ることができた。	R2補正
22	単	コロナ対策対応消耗品購入	住民課	①新型コロナウイルス感染症に対応する消耗品を購入し、感染防止を図る。 ②③消毒液、消毒液自動ボトル、非接触型体温計、デイスボガウン、ノータッチハンドソープ(詰替用付)、相談用パーテーション、フェイスシールド、ペダル式ゴミボックス、ゴム手袋・ペーパータオル等 合計1,314,310円 ④町、公共施設	R2.5	R3.3	1,314,310		1,314,000		310		新型コロナ感染予防のための必要な消耗品を購入し、適切に設置又は使用することができ公共施設における感染予防対策の強化を図ることができた。	R2補正

No.	補助・単独	交付対象事業の名称	所管課	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	事業 始期	事業 終期	A						効果・検証	予算区分
							総事業費 （実績額）	B 国庫補助額	C コロナ交付金充当額	D 起債額	E 一般財源	F 補助対象外経費		
23	単	老人福祉センター事務所拡張	住民課	①新型コロナウイルス感染症に対応するため、老人福祉センター事務所を拡張し、ソーシャルディスタンス確保及びコロナ消耗品の保管場所を確保する。 ②③拡張工事費 858千円 ④町、社会福祉協議会	R2.7	R2.10	858,000		858,000		-		老人福祉センター事務所を拡張することでソーシャルディスタンスの確保及びコロナ消耗品の保管場所を確保することができた。	R2補正
24	単	商工業者事業継続支援金	産業課	①新型コロナウイルスの影響を受け、収入が減少し、持続化給付金対象外となった事業者に対する追加支援を行い、事業継続を支える。 ②③R2.2～R2.5までの合計収入と前年同月合計収入から、年間減収額を算出し、減収額に0.2（利益見込）を乗じた額が20万円を超えている事業者に支援金を交付。上限90万円。 50千円×1件＝50千円、193千円×1件＝193千円、700千円×2件＝1,400千円 合計1,643千円 ④町内事業者	R2.7	R2.7	1,643,000		1,643,000		-		持続化給付金対象外となった事業者の事業継続を図ることができた。	R2補正
25	単	ローズガーデンちっぷべつコロナ対策消毒	産業課	①ローズガーデンちっぷべつ利用者が安心して利用できるよう、施設の消毒を行うために必要な消毒液等物資を支援する。 ②③消毒液等17,525円 ④ローズガーデン指定管理者	R2.7	R2.9	17,525		17,000		525		施設利用者の新型コロナ感染予防が図られた。	R2補正
26	単	新米普及マラソン中止に伴う秩父別温泉振興事業	産業課	①新型コロナウイルスの影響を受け、マラソン大会中止に伴い、マラソン参加者の温泉利用が見込めなくなり、温泉利用者の減少が確実である。そのため、昨年度マラソン大会参加者に対し、温泉ペア入浴券を送付し、次年度のマラソン大会PR及び秩父別温泉の利用促進を図り、交流人口創出に繋げる。 ②③郵送料@63円×829人＝52,227円 入館料328人×500円＝164千円 合計216,227円 ④マラソン参加者、温泉指定管理者	R2.7	R2.11	216,227		216,000		227		328人の利用があり、次年度のマラソン大会PR及び秩父別温泉の利用促進を図ることができた。	R2補正
27	単	給水区域外等生活支援助成金	建設課	①新型コロナウイルス感染症が経済的に甚大な影響をもたらしている状況を踏まえ、町民生活及び経済活動を支援するため、上下水道の敷設されていない世帯を対象として、水道施設維持費の一部を助成する。 ②③水道を未使用世帯 21世帯×5,000円＝105,000円 下水道未使用世帯 226世帯×5,000円＝1,130,000円 送料 30,360円、返信封筒印刷費 27,170円 ④町民	R2.7	R3.1	1,292,530		1,292,000		530		上下水道が敷設されていない世帯に対し、水道施設維持費の一部を助成することで町民生活及び経済活動を支援することができた。	R2補正
28	単	修学旅行バス委託料	教育委員会	①コロナウイルス感染拡大防止を図るため、修学旅行バス利用において、密にならないよう、中型バスから大型バスへ変更する差額分に充当。 ②③1,865円×21名（6年生）39,165円 ④小学校	R2.7	R2.8	39,165		39,000		165		小学生修学旅行バスを中型バスから大型バスへ変更することで密を回避し安心して参加できる環境を整備することができた。	R2補正
29	単	秩父別町図書館書籍消毒機購入	教育委員会	①秩父別町図書館に書籍消毒機を設置し、コロナウイルスの感染拡大防止を図る ②③本体1台+5年間保守 1,170,950円 ④秩父別町教育委員会	R2.7	R2.11	1,170,950		1,170,000		950		図書館の書籍を消毒することで新型コロナ感染予防と安心して利用できる環境整備を図ることができた。	R2補正

No.	補助・単独	交付対象事業の名称	所管課	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	事業始期	事業終期	A						効果・検証	予算区分
							総事業費 （実績額）	B 国庫補助額	C コロナ交付金充当額	D 起債額	E 一般財源	F 補助対象外経費		
30	補	学校保健特別対策事業費補助金	教育委員会	（学校再開に伴う感染症対策・学習保障等に係る支援事業） ①学校再開に伴う感染症対策・学習保障等に係る支援事業 ②③小学校2,144千円 中学校1,626千円 小学校：ペーパータオル、アルコール除菌剤、使い切り手袋、消毒液噴霧器、扇風機、ハンドソープ、非接触型体温計、空気清浄機、自動水栓手洗器、パーテーション等 合計2,124,122円 中学校：フェイスシールド、ペーパータオル、扇風機、エタノール、ハンドソープ、アルコール除菌液、非接触型体温計、空気清浄機、自動水栓手洗器、パーテーション等 合計1,406,713円 ④小中学校	R2.7	R3.3	3,530,835	1,765,000	1,765,000		835		購入した新型コロナ感染予防に係る物品を有効に活用し、換気や手洗を奨励することで感染防止を図ることができた。	R2補正
31	単	農業集落排水事業特別会計繰出・補助	建設課	①新型コロナウイルス感染症が経済的に甚大な影響をもたらしている状況を踏まえ、町民生活及び経済活動を支援するため、公共施設を除く、全利用者を対象として、3か月分（7月～9月支払分）の下水道基本料金を免除する。 ②③農業集落排水事業会計に繰り出し、下水道基本料金減免に係る費用 5,030,410円 （4㎡まで基本料金 976円、6㎡まで1,466円、10㎡まで2,420円） ④町民	R2.7	R2.12	5,030,410		5,030,000		410		公共施設を除く、全利用者の下水道基本料金3か月分を免除することで町民生活及び経済活動を支援することができた。	R2補正
32	単	GIGAスクール構想環境整備事業	教育委員会	①ICT環境の整備のため、児童生徒1人1台端末整備及び先生用端末や付属品、設定等に係る費用 ②③端末本体 55台2,474,450円、タッチペン139個 1,574,870円、端末設定費等1,660,670円 合計 5,709,990円 ④小中学校	R2.7	R2.12	5,709,990		5,709,000		990		ICTを活用した遠隔・オンライン授業等の実践に向けた環境整備を図ることができた。	R2補正
33	単	生き生き生活応援券交付事業	住民課	①新型コロナウイルス感染症の影響で外出機会が減少している高齢者に対し、応援券を交付し経済活動の活性化を図る。 ②③75歳以上の町民一人3,000円分の町内店舗等で使用できる応援券を交付する。応援券使用1,798,500円、印刷費156,310円、郵便料193,763円 合計2,148,573円 ④75歳以上の町民	R2.8	R3.1	2,148,573		2,148,000		573		高齢者645名に交付し、92.9%の使用率であった。高齢者の外出機会の創出と地域経済の活性化が図られた。	R2予備費
34	単	給電機能付自動車導入事業	総務課	①コロナ禍により密を避けるため、高齢者や妊婦に対する健康等に関する事業を集約方式から訪問に切り替えたことから、訪問回数が増加しており、現状の車両台数では不足している。また、自家用車を持たない交通弱者がコロナの疑いにより、医療機関を診療する際、救急車や保健所等の移動手段を利用できない際、公共交通機関の利用を避けるため、町が送迎をし感染予防を図る必要があることから、現状の車両台数では業務に支障が生じるため、車両を1台購入し対応する。 加えて、ブラックアウト等の非常時に避難所での電源供給は、スマホ等の充電目的に多くの方が集まり長蛇の列ができ密が発生した教訓から、購入する車両は、「容易に移動できる電源」としてプラグインハイブリット車とし、コロナ禍における非常時に各家庭まで出向き、世帯単位で電源供給を行い、避難所の密抑制を図る。 ②③給電機能付自動車（RAV4 PHV車）1台4,720千円 ④町	R2.8	R3.1	4,720,000		4,720,000		-		本事業により、高齢者や妊婦に対する健康等に関する必要な訪問回数の確保及び交通弱者が新型コロナ感染疑いにより、医療機関を診療する際、救急車や保健所等の移動手段を利用できない際の車両を確保することができた。 また、災害時等における避難所等の電源供給源の確保が図られた。	R2補正

No.	補助・単独	交付対象事業の名称	所管課	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	事業始期	事業終期	A						効果・検証	予算区分
							総事業費 (実績額)	B 国庫補助額	C コロナ交付金充当額	D 起債額	E 一般財源	F 補助対象外経費		
35	単	インフルエンザ予防接種助成事業	住民課	①新型コロナウイルス感染症対策として、インフルエンザの流行を防ぐため、インフルエンザ予防接種費用を全町民対象に全額助成します。 ②③高齢者追加助成 653,000円、一般2,022,002円、小児826,400円 ④町民	R2.9	R3.1	3,501,402		3,501,000		402		インフルエンザ予防接種費用を全町民対象に全額助成することで接種率が57%となり前年比9%増加し、新型コロナとの同時流行を避けることができた。	R2補正
36	単	秩父別温泉指定管理者に対する支援	企画課	①新型コロナ感染症拡大防止のため、秩父別温泉は旅館や短縮営業及び宴会中止等の様々な感染防止策を実施したことにより減収していた。また、通常営業再開後もコロナ禍の影響で利用客が回復しないため減収が著しく経営が危うい状況である。そこで、支援金として指定管理料を増額し、温泉の経営存続を図る。 ②③支援金として指定管理料を62,100千円増額して支援する。 ④温泉指定管理者 ㈱秩父別振興公社	R2.5	R3.3	62,100,000		62,061,000		39,000		支援をすることで秩父別温泉の営業を継続させることができ、町の観光振興及び町民等の雇用を確保することができた。	R2補正
37	単	秩父別中学校網戸設置工事	教育委員会	①コロナウイルス感染防止策の一つとして、適切な換気環境を整備するため、中学校に換気用網戸を新たに設置する。 ②③網戸6枚145,530円 ④中学校	R2.8	R2.9	145,530		145,000		530		網戸を設置することで換気を奨励し感染予防を図ることができた。	R2補正
38	単	留萌旭川線バス運行事業者緊急支援金	企画課	①新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い休業や外出自粛等により、利用者の減少など大きな影響を受けている地域幹線バスである留萌旭川線を運行する事業者に対して事業の継続に向けた支援を行う。 ②③1事業者あたり100千円×2事業者+町内に停留するバス1往復あたり100千円×8往復=1,000千円 ④沿岸バス株式会社、道北バス株式会社	R2.8	R2.12	1,000,000		1,000,000		-		新型コロナの影響で収入が減少しているバス運行事業者へ支援を行うことで町民の生活の足である路線維持のための一助となった。	R2補正
39	補	無線システム普及支援事業費等補助金	企画課	(高度無線環境整備推進事業) ①民設民営により、町内の光ファイバ未整備地区に光ファイバを整備する。 ②③設置運営事業者に対し、光ケーブル整備(事業費167,390千円)に係る費用の一部を負担金として交付する。交付額111,594千円 ④NTT東日本	R2.8	R3.4以降	167,390,000	55,796,000	44,637,000	66,957,000	-		事業完了が令和3年度となる。	R2補正
40	補	学校保健特別対策事業費補助金	教育委員会	(感染症対策のためのマスク等購入支援事業) ①学校再開にあたり集団感染のリスクを避けるため、保健衛生用品等の整備経費 ②③非接触型体温計、マスク 59,290円 ④小中学校	R2.4	R2.8	59,290	21,000	22,000		16,290		臨時休校から学校再開等にあたり、購入物品を使用することで新型コロナ感染防止を図ることができた。	R2補正
41	補	学校臨時休業対策費補助金	教育委員会	(学校給食費返還等事業) ①学校臨時休業に伴う給食食材に関する契約違約金及び廃棄分の補償経費 ②③補償経費 令和2年2月分 食材廃棄分19,871円 令和2年3月分 違約金10,881円 食材廃棄分21,058円 ④北空知圏学校給食組合	R2.4	R3.3	51,810	38,000	-		13,810		学校臨時休業に伴う給食食材に関する契約違約金及び廃棄分の補償を行った。	R2補正